

真和館だより 第5号

風の彩り

真和館の利用者サービスについて(その3)

～お酒を「呑まない、呑ませない」が真和館のミッション～



施設長 藤本和彦

救護施設真和館は平成18年4月28日にオープンした施設で、やっと4年が経過しました。設立前は、就労自立や地域生活をめざす施設をと思っていました。ところが、現実の入所者はアルコール依存症の方が半分近くおられ、地域での自立など夢の夢になりました。それでも、平成19年度は3人、平成20年度は7人、平成21年度は1人の方が地域生活に移行されました。

さて、本題のアルコール依存症の話ですが、入所者の半数近くの方がアルコール依存症ということで、真和館に入所している限り、断酒をしていただくことになりました。それでも、隠れて飲酒する人がおられると、それが瞬く間に、他の利用者に伝わり、みなさんがそわそわしだし、施設内が何か落ち着かなくなります。

やっと、飲酒の現場を押さえ、対策が終わり、イライラや不満が解消するのにまた、1～2ヶ月かかります。この繰り返しは何回かありました。

しかし、段々と、職員のアルコール依存症に対する知識や体験が蓄積されてくると、隠れて呑む人の発見能力や対応するスキルも格段に向上して来ました。そのため、施設にアルコール持ち込むことや秘かに施設内で廻すということができなくなりました。すると、呑みたい方が耐え切れず、「呑みたい一心で、嘘と真を自分に都合の良いように作り上げて」職員に訴えに来られるようになります。

しかし、最近では、いろんな手を使っても職員の方が、直ぐ見破ってしまいますので、このような手の込んだ訴えも少なくなりました。ただ、年に何回か飲酒欲求が抑え切れず、イライラが高じ自分ではどうしようもなくなり、テンション高く、制止も聞かず振り切って町に飛び出そうとされる方がいます。それをどう阻止するか、そして、如何に呑ませないか、全精力を賭けあらゆる知恵を絞り、町へ飛び出し呑もうとされる方を手を変え、品を変え、何とか落ち着かせなければなりません。鍵のない出入り自由な施設の中で、しかも、ちょっと散歩や買い物に出れば、百円玉2つもあればアルコールは、自由にどこでも買えます。そのような中で、アルコール依存症の方に断酒を続けていただかねばなりません。

幸い、ここ2年ほどは、「呑まない、呑ませない」という方針が浸透し、隠れて呑む人も殆どいなくなりました。平成21年度に飲酒された方は、里帰りの外泊中に2件、散歩中に1件が発生し3人の方が飲酒をされてしまいました。今後も平穏な状態が永く続くよう油断なく、粘り強く対応して参りたいと思っています。

真和館の基本理念



《くらしの目標》

- 1 施設の目標 …時間がゆっくり流れる空間づくり
- 2 職員の目標 …入所者の思いを大切にされた処遇
- 3 入所者の目標 …一日一日を大切にされた、けじめのある生活



入所者統計

1)障害区分状況

H22年4月1日現在

	身体障害	知的障害	精神障害	重複障害		生活障害	合計	(内アルコール依存症)
				身体障害と精神障害	知的障害と精神障害			
男	8(3)	6	33(7)	4	5	5	43	(20)
女	2(1)	0	11(5)	2	0	0	11	(4)
計	10(4)	6	44(12)	6	5	5	54	(24)

※身体・知的・精神障害の数は手帳所持者の数であり、合計とは一致しない。

※身体障害の()内は内部障害者の数で、精神障害の()内は統合失調症者の数である。

2)年齢別入所者状況

H22年4月1日現在

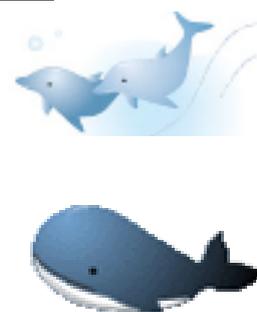
	20~39	40~49	50~59	60~64	65~69	70~79	80~	合計
男	1	0	10	13	12	7	0	43
女	0	0	5	2	1	3	0	11
計	1	0	15	15	13	10	0	54

平均年齢 男)63歳6ヶ月 女)62歳8ヶ月 全体)63歳4ヶ月

退所者状況

H18・4・28 ~ H21・3・31

	就職	地域	他施設	精神入院	他入院	その他	合計
18年度	0	0	1	2	3	5	11
19年度	0	3	2	3	0	2	10
20年度	0	7	3	3	1	5	19
21年度	0	1	4	4	0	4	13



年間行事計画

4月	春の日帰り旅行(~5月) 創立記念式典	8月	ふれあい交流会	12月	心みがきの講演会 真和館仲よし祭り 餅つき大会
5月	熊救協スポーツ大会 真和館春のスポーツ大会 バーベキュー大会	9月	心みがきの講演会 キャンプ 夏の日帰り旅行	1月	初詣 カラオケ大会
6月	カラオケ大会	10月	秋のスポーツ大会 バーベキュー大会	2月	植木市見学 還暦祝い 心みがきの講演会
7月	七夕 心みがきの講演会	11月	秋の日帰り旅行	3月	冬の日帰り・1泊旅行

平成21年度 クラブ活動報告

★ペン習字の会★

21人という多数の方が、日本習字真和館支部のペン習字会員として練習をされています。
3月31日現在で、初段が1人、準初段が1人、1級が1人、2級が2人、3級が5人、4級が6人、6級が3人、7級が2人となっています。
2年半でこの成果。継続が大事です。



ペン習字クラブ
見事、初等師範の資格を取得された。感想は、
…一心にやり抜くこと、あきらめない事…



合唱クラブ
お揃いの衣装を作成し、西原村社協主催の「のぎく祭り」に参加しました。

★合唱クラブ★

土・日曜日の11時15分から、童謡・唱歌・懐かしい演歌などを中心に、30分程度、11～12名程度の方が、練習をされています。
平成21年度は100回の練習と毎月の誕生会や施設のイベントで等で発表をしてきました。

なお、2月28日に開催された西原村社協主催の「のぎく祭り」に12名のみなさんが日頃の練習の成果を披露しました。初めての館外活動としては、大変好評でした。みなさん来年の参加も楽しみにされており、より一層、練習にやる気が出て来たようです。

★心みがきの読書会★

木曜日の10時半から約1時間、11名の会員に対し、施設長から心が洗われるような本を1時間読んでもらっています。平成21年度は、50回の開催で平均7名の方が参加されています。

※参考図書

坂村真真氏著「一日一言」、中国古典の「呻吟語」
北川八郎著「あなたを苦から救うお釈迦さまの言葉」
NHKラジオ深夜便「こころの時代」

★ビデオ鑑賞会★

土・日曜日の午後1時30分から、「真和館ビデオ鑑賞会」と称して内外の様々な映画をビデオで楽しんでいます。

平成21年度は97回上映し、1回平均7名程度の方が参加されています。

なお、ゴールデンウィーク、お盆、年末・年始には特別ビデオ鑑賞会と称して「男はつらいよ」を第1巻から第16巻まで上映しました。



真和館ビデオ鑑賞会
週末のビデオ上映会。
この日は西部劇を鑑賞しました。

山歩きの会
紅葉美しい熊本市の立田山での一駒



★山歩きの会★

山歩きは職員の体制が整わずなかなか開催ができず、平成21年度は8回の実施となりました。

また、参加できる体力のある人が、開設当初の15名程度から21年度は4名になってしまいました。

★自彊術★

ラジオ体操が筋肉を柔らかくする体操とするならば、自彊術は灸や針のように体のポイントを刺激することにより呼吸・血流の流れを良くし、肩こり・腰痛には勿論のこと様々な内蔵疾患にも効果のある体操と云われています。

毎朝、5～6名の方が参加されています。
もっと、多くの方の参加をお待ちしております。

歩こう会
パークドームウォーキングでの一コマ …雨でも快適に運動できます…



自彊術の会
真和館集会室での自彊術の様子

★歩こう会★

歩こう会は雨の日もできるように、原則パークドームで実施しています。平成21年度は新型インフルエンザのため8回しか実施できず、平均7人の方が参加されました。

断酒の取組み

～真和館断酒会～

真和館断酒会は、約3年が経ち定着をしてきました。ただ、施設内断酒会のためメンバーの変化もあまり無く、参加者も限られています。これまでの体験談を語り、聴くという断酒会のこれまでのやり方では限界が感じられるようになりました。そこで、マンネリ化した断酒会をどう改革しようかということで、平成22年度は「グループワーク」というやり方を取り入れることになりました。断酒会になぜグループワーク？と思う方もいるかもしれませんが、この方法では断酒会とは言えないのかもしれませんが、一応やってみようということになりました。

グループワークを取り入れる理由として、①メンバー同士のコミュニケーションを図る、②仲間意識を持つ、③体験談を語り易くする、④入所者による発表の場を最終ゴールとするという考え方です。最終ゴールへ向けて、メンバー同士で、今までに無かった共同作業を行う第一歩を踏み出したばかりです。先ず、「読むこと・考えること・書くこと」に取り組んでいます。これらの作業を苦手とする方もいます。そのため現在は、毎週テーマを決めて〇×形式や選択形式の問題を作成し、体験談記入箇所を設け、読み・考え・書いていただくことにしています。例えば、病気についての問題であれば、自分はどの程度理解しているか再認識できます。また、あらゆる病気を引き起こす可能性がある事に気づき、今後のライフスタイルを考え直していかなければならないと思う方もいます。グループワークを行うためには、コミュニケーションそして一人一人が断酒会参加を継続する意志を持つこと、アルコール依存症という同じ立場だからこそ、分かり合える者同士が築き上げる断酒会にしていくことを念頭に組み込んで行きたいと思っています。

最後に、実際に取り組んでいる様子を紹介したいと思います。この回は、アルコールが引き起こす身体の病気の一部である脳に関わる障害についての学習でした。

①ウェルニッケ脳炎
・・・ビタミンB1の欠乏で眼球運動障害・歩行障害・意識障害が主な症状である。

②コルサコフ症候群
・・・物覚えの悪さ・最近の記憶がない・作り話をする・人物や場所や時間がわからない。

③アルコール小脳変性症
・・・神経細胞の脱落により歩行障害・言語障害・振戦等がある。

④多発神経炎
・・・指先や足先から始まる知覚鈍麻・痛み・痺れがある。

⑤アルコール認知症
・・・知能低下・人格変化等により進行すると社会生活は不可能である。



<断酒会の様子>



<職員からのアドバイス>



<グループでの話し合い>



平成21年度 決算報告

貸借対照表

平成22年3月31日現在

法人合計

資産の部		資産の部	
科目	当年度末	科目	当年度末
流動資産	61,532,150	流動負債	8,753,411
固定資産	334,975,415	固定負債	60,115,718
建物	278,307,200	負債の部合計	68,869,129
土地	7,881,175	純資産の部	
構築物	3,116,000	基本金	58,351,175
車両運搬具	3,940,727	国庫補助均等特別積立金	196,273,187
器具及び備品	6,044,805	施設整備等積立金	33,000,000
その他固定資産	35,685,508	次期繰越活動収支差額	40,014,074
		(うち当期活動収支差額)	(18,497,418)
		純資産の部合計	327,638,436
資産の部合計	396,507,565	負債及び純資産の部合計	396,507,565

事業活動収支計算書

(自)平成21年4月1日 (至)平成22年3月31日

法人合計

勘定科目	決算
事業活動収入計	186,052,884
事業活動支出計	166,992,275
事業活動収支差額	19,060,609
事業活動外収入計	890,719
事業活動外支出計	1,541,097
事業活動外収支差額	△ 650,378
経常収支差額	18,410,231
特別収入計	87,187
特別支出計	0
特別収支差額	87,187
当期活動収支差額	18,497,418
前期繰越活動収支差額	39,516,656
当期末繰越活動収支差額	58,014,074
その他の積立金積立額	18,000,000
次期繰越活動収支差額	40,014,074

創立四周年記念文集

「明日に向かって」

真和館は今年の4月28日で丸4年が過ぎ、いよいよ5年目に入ることになりました。今年もいつもの通り、創立記念日の行事の一環として「明日に向かって」という創立記念文集を作成することにしました。内容的にはいつものとおり、入所者・職員みなさんに、真和館での生活やこれまでの人生について思っていることを「わたしの道」というテーマで書いていただくことになりました。その中の一部を掲載させていただきます。

M・Mさん

今度は新しい生活が始まります。生活をしながら一生かかって透析を受けていけなくなりました。元気なうちに人工透析を受けていくアパートで1人暮らしをしています。

K・Mさん

一番大切なものは、お互いの信頼
しあわせとは、健康で人を愛され常にもものに感動する
心で居ること。
やさしさとは、思いやりのあること
人生とは、自分の役割を十分に発揮すること。
全てのこと、ものに愛情をそそいでゆくこと。
笑顔とは、黒を白にする力を持っている。
苦難を乗り越える方法
与えられた方法
与えられた苦難から逃げないで続けてゆく。

K・Mさん

私は、昭和48年頃結婚して毎日のように楽しく過ごしていました。そして、昭和53年頃離婚して仕事もかえて酒とギャンブルにかえて平成15年頃ギャンブルで土地を無くしてしまいました。酒を飲んで入院と退院の繰り返しでした。入院生活で花が好きだったので、とても熱中して花の依存症になってしまいました。酒も又依存症になり全く自分が情けなくなりました。今は酒も立ち直って毎日過ごしています。もう二度と酒を飲んではいけない体になってしまいました。今から先は、自分を大切にして長生きしたいと思っています。真和館に来てのんびりと過ごしています。これが自分にとって一番幸せだと思っています。振り返って見れば、自分に今の生活が合っていますので、自分のペースで頑張っていきたいと思っています。

春の旅行

(食事コース・芝居見物コース・花見コース)

今年も3班に分けて春の旅行に行ってきました。まず第一弾は、最近よくお世話になっている地元のバイキングレストラン「ファームレストランまきば」に行きました。好きなものが食べられるバイキングなだけあって、皆さんお気に入りの食べ物が見つかる、お代わりしてお腹いっぱい食べられていました。

芝居見物は、熊本市内の片岡演劇道場へ行ってきました。劇場内でお弁当を食べ、他のお客さんとの会話やふれあいも楽しみました。席が上手の花道近くであったため、舞台へ登場した役者さんに声をかけてもらうこともあり、皆喜ばれていました。

春の旅行の最後は、花見学として菊池のフラワーヒル菊池高原→山鹿の山鹿灯籠民芸館→足湯のコースでした。天気にも恵まれ、菊池高原の花畑を散策し、山鹿灯籠の作成現場や模型のお城に見入り、歩いて疲れた足を足湯で癒し、満喫した旅になったようでした。



大分・熊本スポーツ交流会

平成22年5月13日(木)荒木観光ホテルにて大分県と熊本県の救護施設が合同で行っているスポーツ交流会がありました。

当日はお天気にも恵まれ青空の下、真和館からはグランドゴルフに13名の方が参加をされました。

皆さんは、始めは緊張した様子でしたが、徐々にいつもの表情に戻られ、団体戦では積極的に他施設の方と交流され明るい笑い声や声援が聞かれていました。

競技終了後にはお互いに健闘を称えあい、温泉でのんびり疲れを癒して帰館しました。



手洗い、うがいをしよう！

梅雨が明けると暑さがますます厳しくなってきました。

これからの季節、脱水・熱中症予防のため外出の際は帽子をかぶるよう心がけ、熱中症は室内であっても十分に起こりえるものなので、こまめに水分を補うようにしましょう。

暑さに負けず、快適な夏を過ごしてください。



医務室からのお知らせ

真和館のみなさんも大好きなメニュー！

☆スイートポテト☆

(1人分)

さつまいも 60g
バター 5g
砂糖 5g
牛乳 6g
卵黄 5g

- ①さつまいもを茹でて、つぶす
- ②バター・砂糖・牛乳を①に加え混ぜ合わせる。
(固い場合は①のゆで汁を加え、調整する)
- ③②の形を整えバットに並べ、ハケで卵黄を表面にぬる。
- ④オープン又はトースターで焼く。

*お好みでレーズンを入れても美味しいですよ♪



からいも便り

新任職員紹介



江籐 宣子 (看護師)
一期一会の出会いに感謝しながら今後も入所者様の健康作りや、生き甲斐作りのお手伝いが出来ればと思っています。今後も宜しくお願いいたします。



今池 有香 (指導員)
在職して約3ヶ月が経ちましたが、毎日発見ばかりです。朝からよく声をかけていただくので、元気に1日を始めることができます。今年は仕事を早く覚え、そして他にない断酒会にしていこう！を頑張りたいです。

<区役参加>

平成22年5月9日(日)
毎年行われる地域の区役(清掃活動)に参加しました。
地域の方と合同で公道の草取りや落ち葉拾いを行い爽やかな汗を流しました。



地域との交流

お誕生者の案内

7月	7日 石坂(英)	10月	4日 飯干
	8日 本川		4日 藤岡
	11日 福田	19日 田中	11月
19日 東條	16日 野田	24日 河野	
19日 本田(武)	25日 藁井	12月	
8月	2日 澤見		4日 永江
	6日 大海		9日 尾崎
9月	26日 児玉	14日 橋本	
	20日 小田	21日 大塚	
	24日 船瀬		
	28日 松本		

編集後記

日に日に気温も上がり、梅雨明け間近なこの季節、皆様どのようにお過ごしでしょうか。

平成20年7月に創刊されました「風の彩り」も今回で5回目の発行を向かえることができました。

全体的なレイアウトもほぼ決まり、制作活動も慣れてきましたが、まだまだ、文章や写真など、少しでも皆様に楽しんでいただける広報誌にしたいと思いますので、これからもご愛読よろしくお願いたします。

<編集責任・広報委員>

広報委員会: 田上・平畑

発行: 社会福祉法人 致知会

救護施設 真和館

〒861-2401 熊本県阿蘇郡西原村鳥子3072番地

TEL: (096) 279-1121 FAX: (096) 279-1122

E-mail: shinwakan@utopia.ocn.ne.jp

HP: <http://shinwakan.sakura.ne.jp/>

※「風の彩り」に掲載されている写真等は、ご本人の了解を得ております。